



Genius III のご紹介

高校英語3年間の最後の仕上げとなる「コミュニケーション英語III」教科書の *Genius English Communication III* は、学習指導要領の目標としてあげられた「社会生活において活用できる」ことを意識し、*Genius I, II* で培った力をさらに伸ばす内容構成です。

◆世界を取り巻く重要な課題をより深く考察する

Genius I, II では、「地球村」の住民の一人として、生徒に世界全体の課題を自分たちの問題として考える視点を与える教材を多く取り上げてきましたが、*Genius III* ではそれをさらに発展させ、深めるような教材を用意しました。たとえば、〈環境問題〉については、*Genius I* ではボルネオの熱帯雨林の環境破壊の現状を理解し (Lesson 4)、*Genius II* では環境問題の解決法のひとつとして、自然からヒントを得た科学技術について学びますが (Lesson 3)、*Genius III* では、環境に配慮した生活を島全体で実践しているデンマークの小さな島を紹介します (Lesson 3)。また、〈社会貢献〉というテーマでは、ボランティア (I: Lesson 5) → ジャーナリズムによる社会変革 (II: Lesson 10) → 日本人の国際貢献 (III: Lesson 1) というように、身近な話題から始まり、最後は世界全体を見渡すことができるようなスパイラルに広がる観点を提供しています。

このように重要な問題については、3年間でさまざまな観点から学べる教材を用意し、グローバルな視点を身につけることを目指しています。

◆最新の話題・トピックにも注目

近年、話題を集めている最新のトピックについ

ても目配りした教材を収録しました。たとえば、山中伸弥教授のノーベル賞の受賞で注目を集めたiPS細胞と医療への応用についても、科学的見地から分かりやすく解説した教材を用意しました (Lesson 7)。また、昨年、2020年オリンピック・パラリンピック東京開催が決定しましたが、パラリンピックの歴史と参加するアスリートの想いを取り上げた教材もあります (Lesson 8)。

◆現代社会に対応する「読む力」の育成

現代社会では、インターネット上に大量の文字情報が飛びかい、その中から自分に必要なかつ信頼性の高い情報を選び出す能力が求められています。また、大学入試でも長文化が進み、文章の概要や全体の構成を捉える力が問われています。それらに対応する読む力をつけるためには、教科書でも英文の量を保障する必要がありますが、*Genius* ではI～IIIの合計で、Lesson本文のみで約2万8千語、Read On! も含めると約6万語弱の英文を掲載しています。教科書だけで、多読指導・長文読解指導までできる構成です。

◆自分の考えを表現するエッセイ・ライティングと実用的なリスニングの課題

Genius I, II では、さまざまなコミュニケーション活動を通して、自分自身の考えを表現してきましたが、*Genius III* ではその仕上げとして、レッスンの題材に関連したテーマで100～150字程度の英文エッセイを書く課題を用意しました。また、会話や説明文、ニュースなどを聞き取る実用的なリスニングの課題も用意し、「社会活用」を意識しています。

(編集部)